



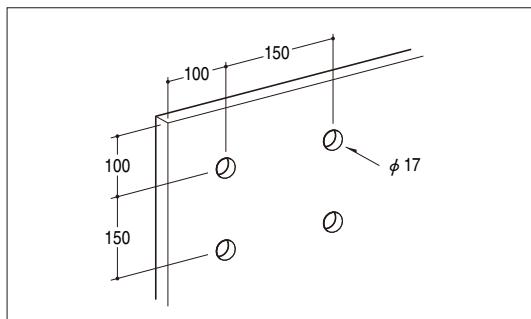
はじめに

『ベビーアーム』は設計段階より様々な安全性の検証を実施し、そのデータを基に商品化しております。
それらのデータの一部を参考データとしてカタログに掲載致します。
『ベビーアーム』は弊社指定の範囲で正しくご使用下されば、安心してご使用いただけるシステムです。

参考データ-1

1.ベビーベース取り付け方法について

『取り付けピッチについて』



- 穴と穴の間隔 150ミリ以上
- 穴と辺の間隔 100ミリ以上

基本的にガラスへの穴開け加工はガラス自体の強度低下を招きます。
上記数値はあくまで弊社パーツを使用するにあたっての安全性を考慮した目安数値です。

(注意)各辺と穴、及び穴同士の間隔を詰めすぎると
ガラス自体の強度が著しく低下し非常に危険です。

『締め付け強さについて』



※推奨締め付け力 1.5N·m~2.0N·m
(\approx 15Kgf·cm~20Kgf·cm)

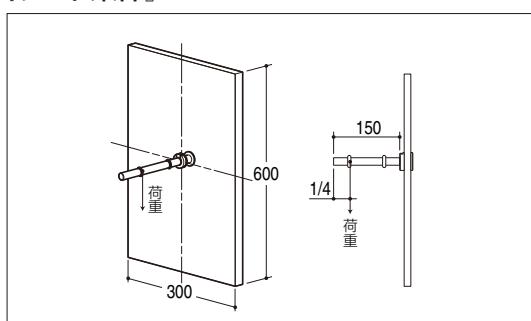
テスト条件 強化ガラス(厚み8mm)のφ17取り付け穴に**BA-SB**をセットし、
トルクレンチにて締め付け。

テスト結果 \approx 8N·mの締め付けにて取り付け用付属ビスの頭部破損。
ガラス側異常無し。

(注意) 製品設計上、ビスの締め過ぎによるガラスの破損を十分に考慮した強度設計を行なっておりますが、必要以上のトルクでの締め付けは、ビス頭部及び本体ネジ部、ガラス破損の原因となります。その場合ベースの取り外しが非常に困難となる恐れがありますので十分ご注意ください。

2.シャフトテストデータ

『テスト条件』



- 使用シャフト **BA-S13** L=150
- 使用ベース **BA-SB** (BA-WBも同等です)
- 荷重位置 シャフト先端部より全長の1/4の位置
- 荷重方向 垂直方向
- ガラス固定方法 上下2辺固定支持
- ベース取り付け部材 強化ガラス(厚み8mm) 600×300 (mm)
- ベース取り付け位置 ガラス中央部

※このテストはシャフト及びベースパーツの強度を検証した結果です。

『テスト結果』



荷重10Kgにて破壊(左写真)

※安定荷重=2Kg (破壊の20%)

- 『破壊状況』
- シャフト側 ダイカスト製根元嵌合部の破壊
 - ベース側 破壊までベース部材異常無し
シャフト破壊時に若干の変形あり
 - ガラス側 異常なし

(注意) 製品設計上荷重時におけるガラスの強度を考慮した強度設計を行なっております。
但し、ガラスの種類や各サイズ・取り付けベースの数量・位置(ピッチ)・荷重条件等に
より結果は異なります。

(破壊部詳細) シャフト根元ダイカスト製パーツの破壊